

すなやま支援員

VOL.22 だより



令和2年3月 発行
 発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子
 拠点施設:ぎよぎよかい めでたや
 住所:塩谷1181 電話・告知端末:62-7273

すぐそこに、2025年問題

5年後の2025年に、日本の国民の3人に一人は高齢者となり、団塊の世代が75歳を超え、後期高齢者が爆発的に増加するだろうと予測されています。

砂山地域の過去20年間人口推移と今後の20年間の予測

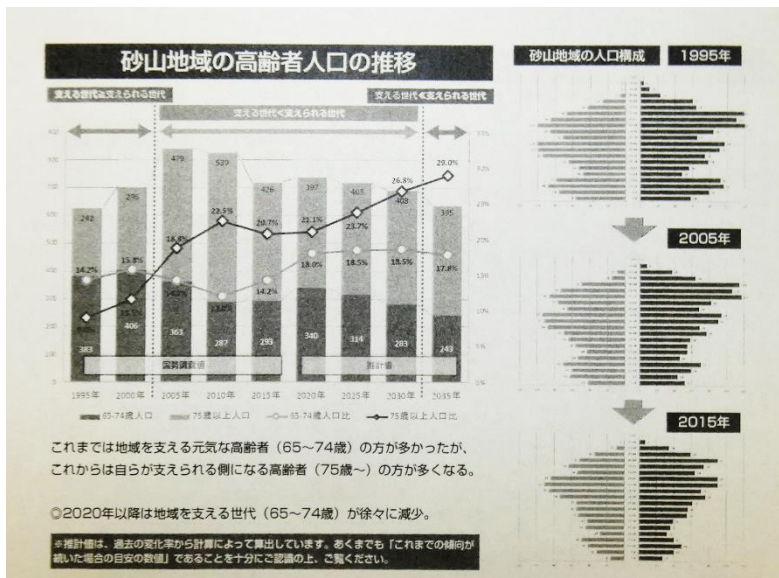
※推計値は、各年国勢調査小地域集計データをもとに、年代別人口の推移・変化率から2015年以降の人口を算出

砂山地域	国勢調査				推計値					
	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	
総人口(人)	2,688	2,568	2,550	2,398	2,061	1,885	1,701	1,526	1,364	
					-23.3%					
0~14歳(人)	455	382	322	277	206	155	119	106	93	
					-54.7%					
15~64歳(人)	1,608	1,484	1,386	1,295	1,136	993	866	729	633	
					-29.4%					
65歳~(人)	625	702	842	826	719	737	717	691	638	
					+15.0%					
高齢者率	23.25%	27.34%	33.02%	34.45%	34.89%	39.09%	42.13%	45.29%	46.79%	
(再掲) 65~74歳	383	406	363	287	293	340	314	283	243	
(再掲) 75歳~	242	296	479	539	426	397	403	408	395	
(再掲) 85歳~	47	62	135	194	146	178	166	138	148	

(参考) 2015年時点で85歳以上の4人1人が要介護3以上(国勢調査結果より)

(参考) 2015年の高齢者率 新潟県平均:29.85%/全国平均:26.63%

※推計値はHCOE [人と組織と地球のための国際研究所] が公開している集計シートを活用し算出



これまでは地域を支える元気な高齢者(65~74歳)の方が多かったが、これからは自らが支えられる側になる高齢者(75歳~)の方が多くなるようです。後期高齢者率が上昇し、家族の規模が縮小していくため家庭内での対応が徐々に困難になります。



※資料参照 都岐沙羅パートナーズセンター

地域の仕事の棚卸をしてみませんか？

人口減少、少子高齢化が進む中、抑制するのは簡単ではありませんが、将来の備えを考えることは今から準備しておいたほうが、いいように思えます。

仕事柄、様々な会議に出席させていただきますが、主要メンバーが同じという集まりが結構あります。

そして圧倒的に男性の参加者、役員さんが多いのも実情です。

一人の人が、何役もこなすより、みんなで少しずつ役割分担をし、多様な意見を集約したほうが、住みよい砂山地域になるのでは？と思います。

人口が少なくなっているのに、役職は減らない、仕事も増える。これでは立ちいかなくなってしまうのは明らかです。集落で集まる機会がある時に、今一度みなさんで本当に必要なのか考えてみてください。

昔は出来ていたことも、今は出来なくなってしまうことも多いはずです。余力があるうちに、役職や地域の仕事を整理して、棚卸してみても、いかがでしょうか？



引き続きコロナウイルスにご注意ください！！



もはや世界中に蔓延しつつあるコロナウイルス。マスクをはじめとする生活用品の不足、小中学校の臨時休校やイベント等の自粛が相次いでいる3月。幸い村上市での感染の報告はありませんが、地続きなので手放しで安心もできない状況です。

普段とは違う生活でピリピリして、社会全体が余裕のない感じが否めないですが、こんな時こそ、周囲の人と協力し合い、お互いを思いやり、考える、いい機会かもしれませんね！

引き続き、感染予防に努め、健康管理にご留意ください。

- こまめな手洗い(石鹼を使用して20秒以上)、人込みを避ける
- 目、口、鼻に極力触らない
- 喚起の悪いところでの近距離の密着を避ける



すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお問合せください。☺

Eメールアドレス:sunayama-shien@sea.plala.or.jp☺